

生きること

坪倉優介 白石由美 清田悠代 安野輝子



生きること

坪倉優介 白石由美 清田悠代 安野輝子

はじめに

講座「生きること」は、一九七八年に枚方市及び枚方市教育委員会の主催で第一回を開催し、本年度で四十五回目を迎えました。

毎年、いろいろな分野で活躍されている方を講師として招き、講師自身の体験や思いなどの話を通じて様々な「生き方」があることを知るとともに、あらためて人権について考える機会を、市民の皆様提供できるよう開講しているものです。

この記録冊子は、二〇二二年十月に実施した講座「生きること」の内容をまとめたもので、講師の生き方、思い、願いをより多くの方々に伝えることができるように作成したものです。

限られた紙面ではありますが、この冊子を通じて、あらためて人権や差別の問題について、考えていただければ幸いです。

発行にあたり、お忙しい中、快く校正をしていただきました講師の方々に、心からお礼申し上げます。

二〇二三年三月

〈目次〉

はじめに

記憶を失うとどうなるのか？

↳ 交通事故にあい脳の中まで出血する↳

坪倉優介 5

新型コロナウイルス禍の中で「生きること」を考える

白石由美 57

重い病気のある「きょうだい」がいるということ

↳ 自身の体験と、きょうだい支援の活動から↳

清田悠代 93

生えてこなかった足

↳ 空襲体験記とその後のこと↳

安野輝子 141

講座「生きること」開催記録

人権尊重都市宣言

枚方市人権尊重のまちづくり条例（前文）

カット 桑島定男